

	到達目標	行動目標	研修内容	必要な症例数	研修指導医の指導体制	症例数の数え方	修了判定の評価基準
基本習熟コース	(1)医療面接 患者中心の歯科診療を実施するために、医療面接についての技能を身につけ実践する。	①コミュニケーションスキルを実践する	問診・現症・病歴聴取  検査・歯式	50	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の診療補助・見学を行いながら指導歯科医の下、症例の配当を行う。それと並行して、技術が目標達成した症例に関しては患者配当を行い、一口腔単位で治療計画を作成し治療を実践する。指導は歯科医師だけでなく歯科衛生士、歯科技工士、歯科事務などが多面的に行う。また、レポート作成の際はサポート等を行う。	治療の流を連続して経験した場合を1症例として数える。但しBr・連結冠は1ユニットを1症例、PD・FDは1症を1症例と数える。	目標達成の基準として、目標症例数10症例未満については100%、10症例以上のものについては65%を達成していることが必要。評価はA～Eの5段階とし、B以上で修了。
		②病歴聴取を的確に行う。					
		③病歴を正確に記録する。					
		④患者の心理・社会的背景に配慮する。					
		⑤患者・家族に必要な情報を十分に提供する。					
		⑥患者の自己決定を尊重する。					
		⑦患者のプライバシーを守る。					
		⑧患者の心身におけるQOLに配慮する。					
	⑧患者教育と治療への動機付けを行う。						
	(2)総合診療計画 効果的で効率の良い歯科診療を行うために、総合的治療計画の立案に必要な能力を身につける。	①適切で十分な医療情報を収集し、得られた情報から診断する。	パントモ撮影 デンタル撮影	80			
②基本的な診察・検査を実践し、判断する。							
③適切を思われる治療法および別の選択肢を提示する。							
④十分な説明による患者の自己決定を確認する。							
⑤患者のさまざまな背景を考慮した一口腔単位の治療計画を作成する。							
(3)予防・治療基本技術 歯科疾患と機能障害を予防・治療・管理するために必要な基本的技術を身につける。	①基本的な予防法の手技を実施する。	小児・保護者へのTBI	5				
		フッ素塗布	1				
	②基本的な治療法の手技を実施する。	小児治療の介助	20				
		小児の簡単な治療	7				
③医療記録を適切に作成し、管理する。							
(4)応急処置 一般的な歯科疾患に対処するために、応急処置を要する症例に対して必要な臨床能力を身につける。	①疼痛に関する基本的な治療を実践する。	浸潤麻酔	80				
		笑気麻酔	1				
	②歯・口腔及び顎顔面の外傷に対する基本的な治療を実践する。	暫間固定	8				
		インレー・クラウン・ポストの除去	4				
	③修復物、補綴装置等の脱離と破損及び不適合に対する適切な処置を実践する。	脱離物への対応	20				

<b>(5) 高頻度治療</b> 一般的な歯科疾患に対処するため、高頻度に遭遇する症例に対して、必要な臨床能力を身に付ける。	①う蝕の基本的な治療を実践する	軟象除去	40			
		間接覆とう	20			
		直接覆とう	6			
		生活歯髄切断	1			
		レジン修復	I 級			40
			II 級			25
			III 級			35
			IV 級			25
			V 級			40
		インレー形成	複雑			35
		試適・SET				30
		寒天印象				40
		知覚過敏処置				15
		レジンコア				10
		メタルコア				13
		テック				3
	全部被服冠形成		10			
	部分被服冠形成		2			
	ブリッジ形成		1			
	寒天印象		50			
	シリコン印象		2			
	ワックスバイト		50			
	シリコンバイト		7			
	咬合床		1			
	Cr試適		2			
	SET		40			
	②歯髄疾患の基本的な治療を実践する	根管拡大・貼薬	50			
		根管充填	18			
		感染根管処置	40			
		抜髄	25			
	③歯周疾患の基本的な治療を実践する	TBI	30			
		口腔清掃	40			
		ポケット測定	40			
		口腔内写真	2			
		スケーリング	40			
		SRP	30			
④抜歯の基本的な治療を実践する。	歯周外科見学	1				
	P抜歯	15				
	鉗子抜歯	7				
⑤咬合・咀嚼障害の基本的な治療を実践する	ヘーベル抜歯	7				
	部分床義歯の印象	30				
	全部床義歯の概形印象	15				
	筋圧形成・精密印象	1				
	部分床義歯の設計	6				
	垂直的顎位の安定した咬合採得	5				
	垂直的顎位の不安定な咬合採得	2				
	全部床義歯の咬合採得	2				
	試適	7				
	部分床義歯の装着	7				
	全部床義歯の装着	5				
	修理	7				
	クラスプセット	5				
	裏層	5				
	ティッシュコンディショニング	5				
技工指示書	60					
義歯調整	70					
<b>(6) 医療管理・地域医療</b> 歯科医師の社会的役割を果たすため、必要となる医療管理・地域医療に関する能力を身につける。	①保険診療を実践する。	歯科往診へ同行し指導歯科医師のもと研修する  チーム医療実践のためカンファランス等に参加する  健康講話会などの共同組織の行事に参加する	常時			
	②チーム医療を実践する。					
	③地域医療に参画する。					

	到達目標	行動目標	研修内容	必要な症例数	研修指導医の指導体制	症例数の数え方	修了判定の評価基準	
基本習得コース	(1) 応急処置 歯科診療を安全に行うために、必要な救急処置に対する知識、態度及び技能を習得する。	①バイタルサインを観察し、異常を評価する。	生体情報モニターの使用	2	指導歯科医の監督下で担当患者の診療を行い、必要に応じて実践。	バイタルサインの観察が必要な患者の診療を体験した場合を1症例とする	2症例を経験	
		②服用薬剤の歯科診療に関連する副作用を説明する。	1) 講義 2) レポート作成	受講必須 1症例レポート	レポート作成を支援する	/	レポートを評価する。評価はA～Cの3段階評価で、B以上を修了。	
		③全身疾患の歯科診療上のリスクを説明する。						
		④歯科診療時の全身合併症への対処法を説明する。						
		⑤一次救命処置を実践出来る知識と手技を獲得する。	1) 講義 2) マネキン実習	医師の指導下での実習・講義、レポート作成を支援する。				
		⑥二次救命処置の対処法を説明する。	講義	レポート作成を支援する				
	(2) 医療安全・感染予防 円滑な歯科診療を実施するために、必要な医療安全・感染予防に関する知識・態度及び技能を習得する。	①医療安全対策を説明する	医療事故や院内感染関連のセミナーへ参加、または文献を学習しレポートを作成する。	1	レポート作成を支援する			/
	②アクシデント及びインシデントを説明する。							
	③医療過誤について説明する。							
	④院内感染対策(スタンダードプレコーションを含む)を説明する。							
	⑤院内感染対策を実践する。							
	(3) 経過評価管理 自ら行った治療の経過を観察評価するために、診断及び治療に対するフィードバックに必要な知識、態度及び技能を習得する。	①リコールシステムの重要性を説明する。	1) 必要事項をカルテに記載 2) 予後患者に説明する 3) 次回来院日を決定する	20	指導歯科医の監督下で担当患者に対し実践する。	担当患者の診療を行う。1)～3)のいずれかを体験すれば1症例とする。	10症例以上の患者を経験。	
	②治療の結果を評価する。							
	③予後を推測する。							
	(4) 予防・治療技術 生涯研修のために必要な専門知識や高度先進的技術を理解する。 歯科矯正に必要な検査、診断、治療の能力を身につける。 一般的な口腔外科疾患に対処するために必要な知識と態度、技能を身につける。	①矯正	診断と診療の見学・介助	2	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の診療補助・見学を行いながら指導歯科医の下、症例の担当を行う。それと並行して、技術が目標達成した症例に関しては患者担当を行い、一口腔単位で治療計画を作成し治療を実践する。指導は歯科医師だけでなく歯科衛生士、歯科技工士、歯科事務などが多面的に	担当患者の診療を行う。	すべての患者を経験	
②口腔外科		膿瘍切開	2					
		縫合	1					
		症例見学・介助	6					
③その他	インプラント症例見学・介助	1						
(5) 医療管理 適切な歯科診療を行うために必要となる、より広範囲な歯科医師の社会的役割を理解する。	①歯科医療機関の経営管理を説明する。	管理担当歯科医師または事務等の講義を受けレポートを提出	1	レポート作成を支援する	/	レポートを評価する。評価はA～Cの3段階評価で、B以上を修了。		
	②常に必要に応じた医療情報の収集を行う。	文献の検索および学会等へ参加しレポートを提出	2					
	③適切な放射線管理を行う。	デンタル・パノラマ・CT撮影の必要性や撮影方法を説明しレポートを提出	1					
	④医療廃棄物を適切に処理する。	一般廃棄物と医療廃棄物の違いを理解しレポートを提出	1					
(6) 地域医療 歯科診療を適切に行うために、地域医療についての知識、態度及び技能を習得する。	①地域歯科保健活動を理解し、参加する。	班会・保健学校見学□	1	講師活動の援助とレポート作成を支援する	/	レポートを評価する。評価はA～Cの3段階評価で、B以上を修了。		
		班会・保健学校講師	1					
	②歯科訪問診療を説明。体験する。	往診同行□	8	研修歯科医は上級歯科医・指導歯科医の診療補助・見学を行いながら指導歯科医の下、症例の担当を行う			担当患者の診療を行う。	簡単な診療を1症例以上経験
		口腔ケア	5					
		在宅における簡単な診療	3					
③医療連携を説明し、実践する。	診療情報提供・紹介状・照会状	2	指導歯科医は紹介診療情報提供書の書き方、返信の内容による患者対応について指導する。	紹介・診療情報提供書の作成、照会内容を患者に説明するまでを1症例とする。	1症例以上経験			